

報道機関 各位

塩尻小児童が郷土資料館で3D撮影

長野大学学生・上田西高生徒が塩尻児童クラブと連携して支援



児童が3Dツールで文化財を撮影



児童が制作した3Dデータをネット公開

長野大学前川ゼミ学生と上田西高の生徒が塩尻児童クラブと連携し、塩尻小学校郷土資料館の収蔵物を3Dで撮影しネット公開して、地域学習を支援しています。

同校の郷土資料館は塩尻地区の歴史・文化を記憶する農業・蚕糸業の道具や資料、埋蔵文化等の文化財を展示しています。しかし学校での地域学習に利用される機会が減少し「開かずの間」と化していました。普段は閉じられているため、教員も児童も住民も中に入ることができませんでした。

長野大学は同館を児童や市民の地域学習にも役立てられるよう同館の収蔵品をデジタル化し、デジタルアーカイブサイト『塩尻小デジタル資料館』を開設しました。今年度は大学生と高校生が協働して収蔵品の3D化に取り組んでいます。

このたびはさらに塩尻児童クラブとも連携をし、放課後、児童クラブの児童たちが3D撮影をします。実際に児童が撮った3Dデータをネットに公開します。

ついでに当日の日程で大学生・高校生・児童による3D撮影の現場を公開いたします。取材いただきますようご案内いたします。

【日時】11月27日(水) 16:00～17:00

【会場】上田市立塩尻小学校 郷土資料館

【参加者】塩尻児童クラブの児童、長野大学学生、上田西高生徒、その他関係者

【お問合せ】

前川道博（長野大学教授） TEL: 090-2270-5074 Mail: maekawa@nagano.ac.jp